



学校法人 川副学園
博愛の里こども園

令和6年度
No.27



本園のHPです。
カラー版で拡大して
ご覧ください！

博愛の里だより

元気いっぱい やる気まんまん 笑顔にここにこ

令和6年12月9日
文責：五反田 康子



2024 博愛っ子ハッピーステージ、たくさんのご参加ありがとうございました。発表に向け、強制力が働くことなく、自分発で、共同しながら生き生きと目を輝かせて楽しんで活動している普段の様子が伝わったことと思います。博愛っ子たちは「元気いっぱいやる気まんまん笑顔にここにこ」で頑張ってくれました。緊張しながらもみんないい表情でした。今後も主体性を育て「遊び込む教育・保育活動」を行っていきます。徳永様もありがとうございました！

さあ、このあとは一気に年末です。2024年「新語・流行語大賞」にノミネートされた30語、全て分かりましたか？ 今年の自分の「重大(10大)ニュース」を考える時期になりました。お子さんと一緒に、この一年をしっかりと振り返る時間を取れるといいですね。

■ さくら組さんの様子です。しっかり先生のお話を聞いています。また、ルールのある集団遊びを楽しめるようになっていきます。



2日(月)の今年最後のおはなし会でも、集中してお話を聞くことができました。この日の絵本は「あらいぐまのおふろやさん」と「6ぴきのカエルとひえひえのよる」。坂田先生と一緒にカエルの数を数えたり、先生からの問いにもしっかり答え、楽しんで理解していました。今回は冬がテーマでした。



あいさつもとても上手です。



ばら組さんでは「こたつうし」と「おにぎりがしま」の2冊でした。坂田先生との掛け合いも楽しく不思議な世界に浸っていました。普段から、絵本や物語などに親しみながら豊かな言葉や表現を身に付け、自分の経験と結び付けて考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりして、言葉による伝え合いを楽しんでいます。



■ 「幼児期に身につけておきたい36の基本動作」には、大きく分けて下記の3つがあります。これらを幼児期に身につけておくことで将来いろいろなことにチャレンジできるようになります。「体のバランスをとる9つの動き（立つ、起きる、回る、組む、渡る、ぶら下がる、逆立ちする、乗る、浮く）」、「体を移動する9つの動き（歩く、走る、跳ねる、滑る、跳ぶ、登る、くぐる、這う、泳ぐ）」、「用具を操作する動き・力試しの18の動き（持つ、支える、運ぶ、押す、抑える、漕ぐ、掴む、当てる、取る、渡す、積む、掘る、振る、投げる、打つ、蹴る、引く、倒す）」です。幼児期は、自分の体の動きをコントロールできるようになり、できることがぐんと増えていく時期、基本的な動きが定着し、様々な動きができることに「おもしろさ」を感じる頃です。友達の動きを見て、「自分もできるようになりたい!」という意欲が芽生えたり、いろいろな動作を組み合わせてさらに上手に複雑な動きができるようになったり、目的に向かって集団で行動したり、友達と協力・役割分担して遊ぶことができるようになります。幼児は様々な遊びを中心に、毎日、合計60分以上、楽しく体を動かすことが大切だといわれていて、文科省の調査によると、「4割を超える幼児の外遊びの時間が1日1時間未満で、外遊びをする時間が長い幼児ほど体力評価が高い」という傾向が出たそうです。



今年の夏は暑すぎて十分に外遊びができませんでしたでしたが、逆に今は、寒さに負けず元気いっぱい外遊びができています。また、隔週火曜日の「体育教室」で心身共に成長しています。写真は11月26日の体育教室の様子です。



最初によくストレッチして体をほぐしています。(ばら組) →
← この日は跳び箱とマットを使って(ゆり組)



オーストラリア議会で16歳未満の子供がSNSを利用することを禁止する法案が可決されたというニュースが話題となっていました。「子供は電子端末から離れ、対面での実体験を通じて学び、成長してほしい」という訴えからです。日本でも今年3月に「昨年1年間にSNSを利用して犯罪被害に遭った小学生が増加し過去最多となった(警視庁まとめ)」と報じていました。たくさん外遊びをさせていきましょう。また、慌ただしいこの時期こそ、意識して、お子さんとたっぷり時間をとってください。

■ チャイルドファンタジーフェスタ、なんと、ど真ん中の最前列で鑑賞することができました。西高生が盛り上げてくれて、みんなノリノリでした。間近でオーケストラの楽器を堪能する機会はなかなかないので、貴重な経験でした。花束贈呈もうちから代表が! → さて、今年を漢字一文字で例えたら……? 「楽」だといいですね。

